



第6次八戸市
総合計画
将来都市像

ひと・産業・文化が輝く

北の創造都市



八戸ふるさと交流フォーラム 市政報告

歴史を紡ぎ90年
輝く未来へ 八戸市

令和2年2月4日
八戸市長 小林 眞

八戸市の人口・経済・交通ネットワーク



- 八戸市は、人口約23万人、青森県南東部に位置する県内第二の都市である。

【青森県第2位】○人口：23万1,257人（H27国勢調査）

- 八戸市は、日本有数の水揚げを誇る水産都市であるとともに、北東北最大級の工業都市である。また、県内最多の商圈人口を擁し、岩手県北も含めた広域商業を担っている。

【全国第10位】○水揚げ数量：6万6,117トン(R1)

【全国第12位】○水揚げ金額：147億6千万円(R1)

【北東北第2位】○製造品出荷額等：5,341億円(H30工業統計)

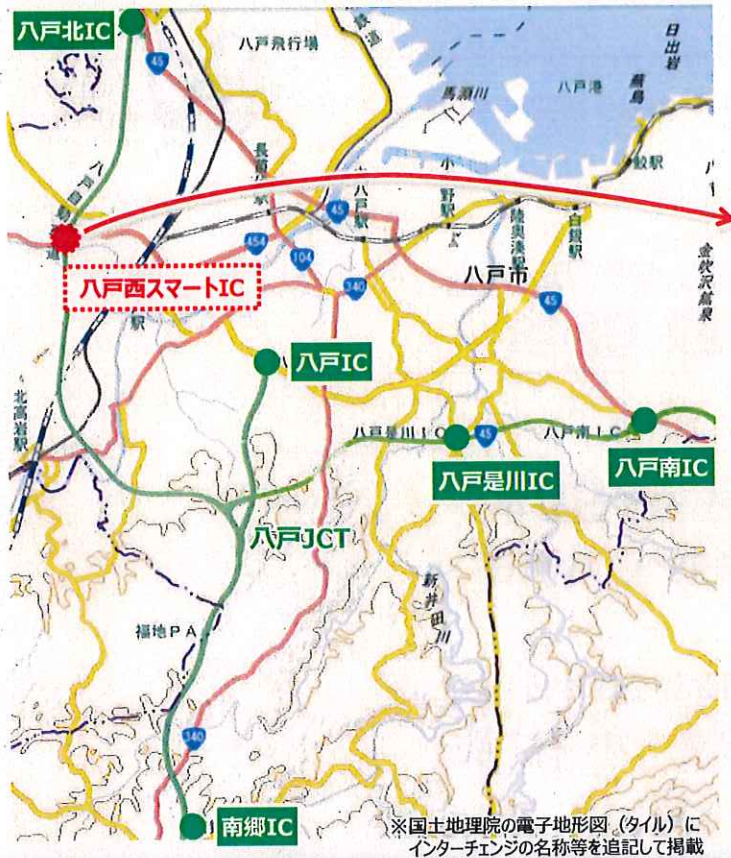
【青森県第2位】○年間商品販売額：7,510億円（H28経済センサス）

- 東北新幹線や東北縦貫自動車道八戸線・三陸沿岸道路等の高速道路網、八戸港（重要港湾）、三沢空港、本州と北海道を結ぶフェリー等、北東北における陸・海・空の交通結節点となっている。

- また、市内を通る高速道路網には、6つのインターチェンジが整備されている。

【北東北第2位】○八戸港コンテナ取扱量：58,463TEU（H30速報）





平成31年3月23日供用開始



- 八戸市内には、高速道路のインターチェンジが5箇所整備されており、八戸西スマートICは6か所目のインターチェンジとなる。
- 八戸西スマートインターチェンジの供用開始により、
 - ✓さらなる利便性の向上、
 - ✓広域医療体制の充実、
 - ✓防災活動の支援が可能となる。



地域産業を活性化するための取組

八戸ワイン産業創出プロジェクトの推進



南郷地区の農業経営を支えている「葉タバコ」は、国内需要の低下により、生産面積が減少しており、今後もその傾向が続くことが予想される。

転換作物として「ぶどう」の栽培を調査・研究

- 南郷地区の気候や土壌との適応性が高い
- ワインの原材料として今後も需要が見込まれる



ワイン製造の展開を調査・研究

- 産業として裾野が広い
- 「日本ワイン」の国内市場が拡大傾向にある

新たな主要作物の選定と南郷地区の農業の活性化

新たな産業の創出による地域経済の活性化と雇用の創出

これまでの主な取組等

- **ぶどう栽培に関する調査研究（平成26年度開始）**
 - ・南郷地区に様々な品種のぶどうを植栽し、生産安定技術、病害虫防除技術、品質及び収量等に関する調査・研究を開始。
 - ・青森県産業技術センター弘前地域研究所において、ワインの試験醸造を実施。
- **八戸ワイン産業創出特区 平成28年11月29日認定**
 - ・製造規模の要件緩和 6キロリットル/年 → 2キロリットル/年
- **八戸ワイン生産法人 平成28年12月7日認定**
 - ・市内の2社（澤内醸造、はちのヘワイナリー）を認定
- **澤内醸造 平成30年1月26日販売開始**
 - ・白、ロゼのスパークリングワイン
- **はちのヘワイナリー 平成30年5月17日販売開始**
 - ・ロゼのスパークリングワイン（委託醸造）
- ※令和元年11月29日 自社工場で製造した赤ワインを販売開始

苗木植え付け本数

27品種 約37,500本
(H30年度末時点)

ワイン用ぶどう

生産経営体数
13経営体

ワイン用ぶどうの収量

年度	収量
H29年度	2,753kg
H30年度	4,743kg
R元年度	9,524kg

約3.5倍



▲澤内醸造のスパークリングワイン



▲はちのヘワイナリーのワイン等

八戸港の物流拠点化



北東北の経済活動を支える物流拠点

世界と繋がるコンテナ定期航路

ASEAN向け通年マッチング支援事業 in ベトナム



2019年12月7日

- **中国・韓国航路**（南星海運株・高麗海運株）週3便
- **韓国航路**（長錦商船株・興亜LINE株）週2便
- **国際フィーダー航路** 各週1便

・株横浜コンテナライン（八戸・横浜・仙台・宮古・苫小牧）

・井本商運株（八戸・横浜・東京・苫小牧・仙台）

・鈴与海運株（八戸・横浜・苫小牧）

● 集荷サービスを展開

OOCL(香港)、INTERASIA(台湾)、SITC(中国)

● 小口混載貨物サービスを展開

ジャパン・パン・ラインズ株 ※輸出、イーキューワールドワイド株 ※輸出入

八戸港コンテナ貨物取扱量（TEU）



- H22年：45,430TEU
- H23年：30,846TEU
 - ・震災の影響で前年比約3割減
 - ・H23年後半から持ち直す
- H25年：45,636TEU
- H26年：48,136TEU
- H27年：58,065TEU
- H28年：58,972TEU
- H29年：56,429TEU
- **H30年：58,463TEU**
(実入：37,322TEU ※過去最高)

新産業団地の整備

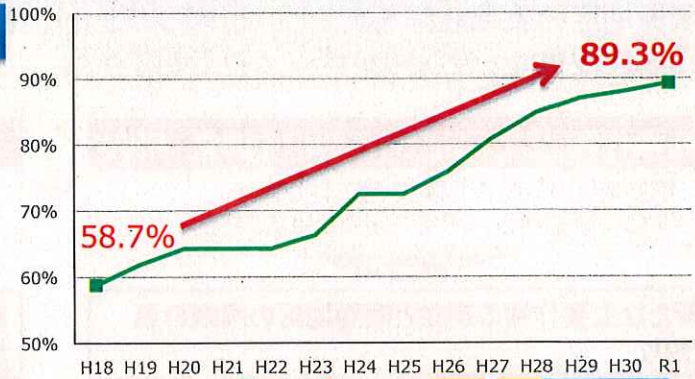


八戸北インター工業団地

- ✓ 青森県新産業都市建設事業団が約170億円の事業費をかけてH2年から整備・分譲を開始。
- ✓ 着実に分譲が進み、R2年1月末の分譲率は89.3%となっている。

■ 分譲面積

用地面積：約994,900㎡
分譲済み面積：約888,232㎡



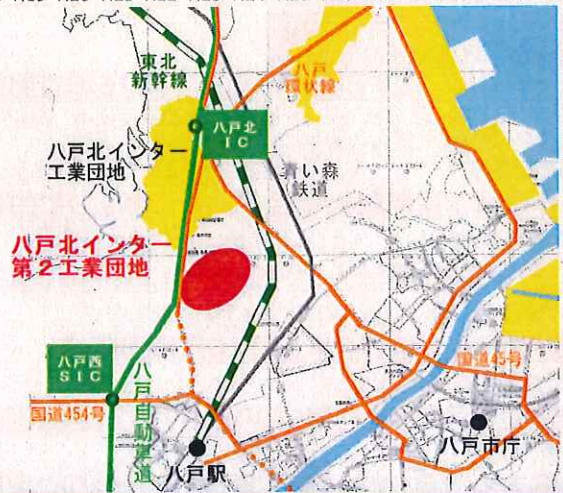
新たな産業団地 「八戸北インター第2工業団地」

■ 開発地

場所：八戸北インター工業団地 南側

■ 今後の予定

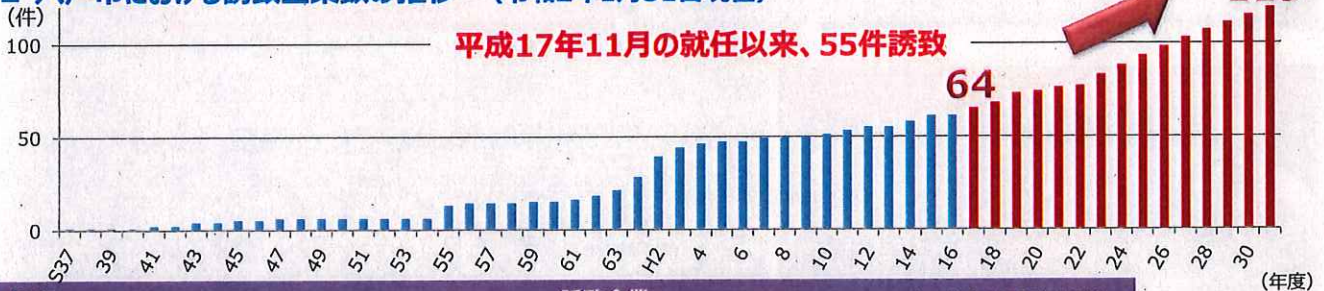
実施設計、用地買収、造成工事・道路工事等を経て、令和5年度の分譲開始を予定。



企業誘致の促進



■ 八戸市における誘致企業数の推移 (令和2年1月31日現在)



平成17年11月の就任以来、55件誘致

55件誘致により
約2,500名の
雇用創出
(H31.4月現在)

年度	誘致企業	(※社名は誘致当時)
H17	(株)インフォプラント	
H18	(株)ミナミ、中発テック(株)	
H19	桜総業(株)、つばノワトウェアエンジニアリング(株)、テルウェル東日本(株)、(株)プライムピーピー、マネックス証券(株)、センサ工業(株)	
H20	(株)スズキ納整センター	
H21	(株)三和精機、新日本石油(株)	
H22	(株)クラブ	
H23	(株)ジェイロック、クエイティブ、(株)アークワ、(株)ウエノ、ヤフーカスタマーソリューションズ(株)、(株)宝幸、エプソントヨックス(株)	
H24	(株)リゲイン、北日本造船(株)、高周波鋳造(株)、合同酒精(株)、マネックス証券(株)八戸事務センター	
H25	テルウェル東日本(株)八戸番号ポータルセンター、ウォーターワン(株)、サテラック(株)、(株)大泉製作所、(株)マーシュ	
H26	(株)Blazing、(株)抗菌研究所、(株)アバマンショップネットワーク、(株)Paltac、八戸バイオマス発電(株)	
H27	(株)フルタイムシステム、多摩川精機(株)・多摩川モバイル電装(株)、榎本ピーエー(株)、(株)ヨックス、トウラジオ(株)八戸チラシ情報センター	
H28	(株)上組、みちのバイオエナジー(株)、エム・ピー・エム・王子エエエネルギー(株)、朝日インテック(株)	
H29	(有)酒井精密工業、エム・ピー・エム・王子ホームプロダクツ(株)、アダティブ(株)、プライブ(株)	
H30	ShowTalk株式会社、(株)IGAマックス、(株)友伸エンジニアリング、Apaman Property(株)	
H31/R1	(株)LEAP、(株)ライトカフェ、(株)ADKデジタルオペレーションズ、(株)北神エンジニア	



市民生活を向上させるための取組

8

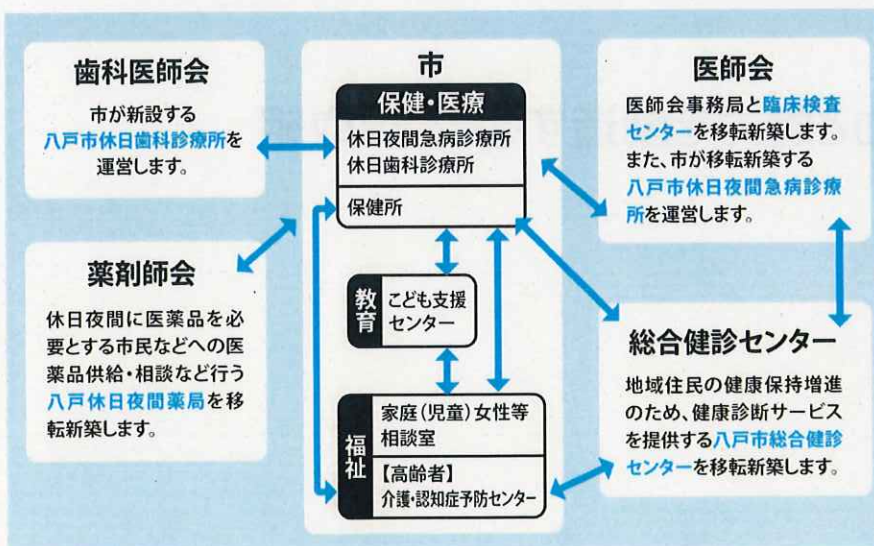
(仮称) 八戸市総合保健センター整備事業



2020年6月1日供用開始予定

(仮称) 八戸市総合保健センターは、総合的な医療・健康対策の拠点として、八戸市医師会、八戸歯科医師会、八戸薬剤師会、八戸市総合健診センターと協力し、整備を進めています。

新しい施設では、乳幼児から高齢者まで一貫してきめ細やかで質の高いサービスを効果的に提供します。また、子育て世代包括支援センター【母子保健】、こども家庭相談室【福祉】、こども支援センター【教育】を集約し、一層の連携を図ることにより八戸版ネウボラを実現します。



イメージパース



整備地：八戸市田向三丁目6-1

9



2020年5月末 供用開始予定

高齢社会の進展とともにがんの罹患者数、死亡者数は今後も増加していくことが見込まれています。当市でも緩和ケアの充実を求める声が年々高まっており、市のがん対策を総合的に推進するため、緩和ケア病棟の整備を行っています。

項目	内容
病床数	20床（全室個室）
建設場所	市民病院南西側の職員駐車場
施設規模	鉄骨造、地上3階・塔屋1階、建築面積2,400㎡程度



外観イメージ



都市の活力と魅力を創造するための取組

中心市街地における各種事業



本八戸駅通り地区整備事業

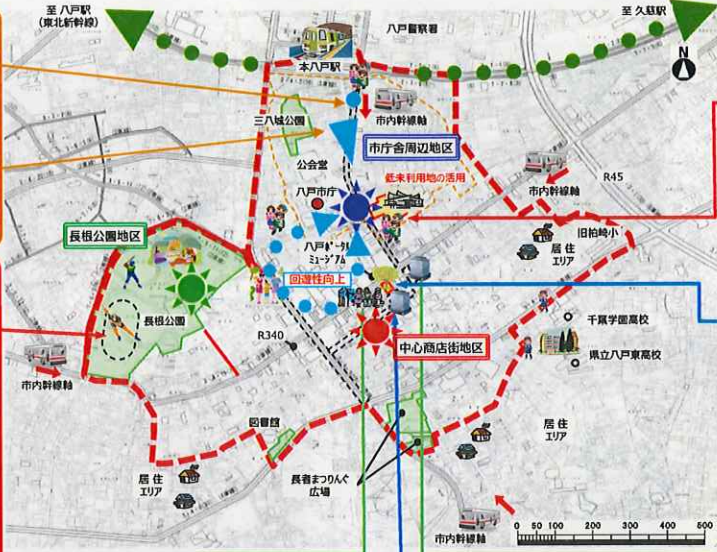
■八戸都市計画道路事業3・5・1沿線三日町線
 【風景事業】
 L=700m、W=15.0m (H22~)
 中心市街地の玄関口である本八戸駅と三日町をつなぐ道路として、公会堂、市庁前の広場と一体性のある整備を行う。

■本八戸駅通り地区街なみ環境整備事業
 【市事業】
 内丸地区A=26.5ha (H24~R2)
 八戸市中心市街地の玄関口に相応しい街なみの整備を行い、歩いて楽しい通りと都心地区に隣接する良好な住宅地を形成する。

八戸市屋内スケート場運営事業

(H26~R1、6月末竣工)
 (令和元年9月29日(日)供用開始)
 ・延床面積：26,274㎡
 ・構造：鉄筋コンクリート造、地上3階建て
 ・観客数：約3,000席

国際大会が可能なスピードスケートの拠点施設で、防災機能の地、スポーツや大規模イベントなど多目的に利用可能な屋内スケート場を整備した。



美術館整備事業

(H27~R3)
 ・延床面積：4,881㎡
 ・構造：鉄骨造、地上3階建て
 美術館を市民の交流場所としてまちづくりに活かすため、機能を拡充し、芸術文化に身近に親しむ環境を整え、地区の再生・活性化に寄与する。
 (令和3年夏頃グランドオープン予定)



八戸まちなか広場運営事業

(H30~)
 平成30年7月に中心市街地のメインストリートに來街者の滞留や回遊の拠点として、全天候型の多目的広場「八戸まちなか広場(マチニワ)」を整備。週末などには各種イベントも開催され、中心市街地の賑わい創出に寄与している。



花小路整備事業

L=170m (H29~R1)
 (令和元年度末供用開始予定)
 中心市街地の回遊性向上のため、民間が事業主体となり、段差の解消や美観化することで快適な歩行空間を整備する。



八戸ブックセンター運営事業

(H28~)
 「八日町地区複合ビル整備事業」により、平成28年7月に複合ビル「Garden Terrace」が整備され、同年12月に公設の書店「八戸ブックセンター」がオープン。「本のまち八戸」を推進する拠点施設の運営を行っている。



八日町地区複合ビル整備事業

【民間事業】
 (H24~R1)
 ・延床面積：6,600㎡
 ・構造：RC造 地上13階
 ・主な用途：住居(57戸)
 商業、駐車場
 商業・居住機能を有する複合ビルの整備を行い、中心市街地の居住人口の増加を図る。



新美術館の整備



背景

- 新美術館を求める市民の声の高まり
- 「アートのみちづくり」中核施設としての美術館機能拡充
- 旧美術館施設の課題解決

整備概要

- 構造及び階数：鉄骨造/地上3階
- 延床面積：4,881㎡
- 建物本棟概算工事費：約32億円
- 設計者：西澤徹夫建築事務所・タカバネスタジオ設計共同体
- 建築本棟工事：鴻池組・田名部組・東復建設JV
- 電気設備工事：ユアテック・溝口電気JV
- 機械設備工事：タイタン・サカモト・葵JV

整備スケジュール

- ・平成28年度 基本構想策定
基本設計業者選定
- ・平成29年度 基本設計完了
実施設計着手
旧美術館解体
- ・平成30年度 実施設計完了
管理運営基本計画策定
- ・令和1年度 本棟建築工事中
中期運営計画策定
- ・令和2年度 竣工
美術館前広場整備着手
開館準備
- ・令和3年度 美術館前広場完成
新美術館オープン

新美術館のビジョン

種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館
 ~出会いと学びのアートファーム~

「美術館」の基本的な役割に、人々が互いに刺激し合いながら感性を高め育まれていく「アートの学び」と、観光や福祉、地域コミュニティなど様々な分野を横断した総合的な文化政策を担う「アートのまちづくり」の3つの役割を融合した新しい美術館。



新美術館の整備②



定点撮影



平成30年1月 定点撮影



令和1年12月 定点撮影



- ・令和1年度 交番移転
- ・令和2年度 青森銀行移転・新美術館本棟完成
- ・令和3年度 美術館前広場完成、新美術館オープン

八戸まちなか広場『マチニワ』



2018年7月にオープン。夏場は子供たちの水遊びの場となっているほか、マルシェ、バルフェス、音楽イベントなどが開催され、にぎわいの創出、回遊性の向上、周囲への効果の波及等を促す新たな拠点となっている。



ホッピングウォーターで遊ぶ子供たち

■ 開館情報

【オープン時間】 6:00～23:00

※オープン時間以外は通行不可

【休館日】なし

【貸出時間】9:00～21:00



イベントで賑わうマチニワ



クリスマスシーズンのバルーン装飾



昨年12月に設置したマチニワピアノ

スポーツのまち八戸の推進



地域スポーツチーム応援事業

- 地域振興のため、プロスポーツチームを支援



3人制バスケットボールチームも発足!!

Jリーグ参加!!

スポーツイベント・合宿等の誘致

- 交流人口の拡大による地域振興や市民のスポーツへの興味・関心の向上



フラットアリーナ
令和2年春オープン予定

平成31年1月6日
大河ドラマ「いだてん」トークツアー実施

東京2020オリ・パラに向けた機運も醸成!!

みたくなる

氷都八戸パワーアッププロジェクト

- スケート競技人口拡大・競技力向上



令和元年11月24日
岡崎朋美さんを招いてのスケート教室の様子

八戸から世界へ!!

八戸市スポーツ推進計画

誰もがスポーツを「楽しみたくなる街」の実現と「氷都八戸」の新生

H31年3月策定 計画期間:10年

各種大会運営等補助金

- 競技団体の活動や大会運営等を支援

「ささえる」人材環境を強化!!

したくなる

ささえたくなる

レスリングのまち推進事業

- 出身メダリストの功績をたたえる
- 子ども達の育成



平成31年3月17日
伊調馨さんを招いてのレスリング教室・大会の様子

八戸のレスリング文化を全国へ!!

スポーツビジネス実証事業

- 「地域スポーツコミッション」設立へ向け各種実証事業を展開

スポーツを通じた地域振興を一体的に推進!!

八戸市スポーツ大使

八戸市 Sports Ambassadors, Hachinohe City



■ 概要

市民の郷土への愛着と誇りを醸成するために、当市にゆかりのトップアスリート及び当市を拠点とするスポーツチームを**八戸市スポーツ大使**として委嘱し、当市の魅力をPRしていただくもの。



■ チーム

ヴァンラーレ八戸
東北フリーブレイズ
青森ワッツ

■ 個人※敬称略

伊調 馨 (レスリング)
小原 日登美 (レスリング)
中村 亜実 (アイスホッケー)
小笠原 祐子 (バドミントン)
小清水 倫子 (バドミントン)
天摩 由貴 (ゴールボール)
上野 みなみ (自転車)
岡崎 朋美 (スピードスケート) (R1.11月現在)

■ 八戸市スポーツ大使ふるさとセミナー

次代を担う子どもたちに八戸市スポーツ大使の豊かな経験や実績を伝えることにより、八戸圏域住民の郷土への愛着及び誇りを醸成するため、教育機関に八戸市スポーツ大使を派遣するもの。



バスケットボール教室



サッカー教室



アイスホッケー教室

■ 令和元年度 実績

開催校	講師 ※敬称略
豊崎中学校	青森ワッツ
城北小学校	ヴァンラーレ八戸
八戸盲学校	天摩 由貴
八戸聾学校	東北フリーブレイズ
水産高等学校	ヴァンラーレ八戸
町畑小学校	青森ワッツ

八戸市長根屋内スケート場整備事業



施設整備の基本方針

1. 国際大会が開催可能な屋内スピードスケート場
2. スピードスケート競技・スケート文化の拠点的役割
3. 防災拠点・多目的な利用が可能



館内の状況



アリーナ

ロビー(1階)



ホワイエ(2階)

観戦ロビー(3階)

建物概要

令和元年9月29日供用開始

建物規模:【高さ】約25m【天井高】約15m
 【階数】地上3階、地下1階(通路)
 面積:【建築】約22,300㎡【延床】約26,270㎡
 観客席:約3,000席

- 令和元年 8/24 (土)
竣工記念式典・竣工記念音楽フェス
「WORLD HAPPINESS 2019 WITH HACHINOHE」
- 9/29 (日)
供用開始・オープニングイベント
- 10/25 (金) - 10/27 (日)
全日本スピードスケート距離別選手権大会
- 令和2年 1/29 (水) - 2/2 (日)
第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会

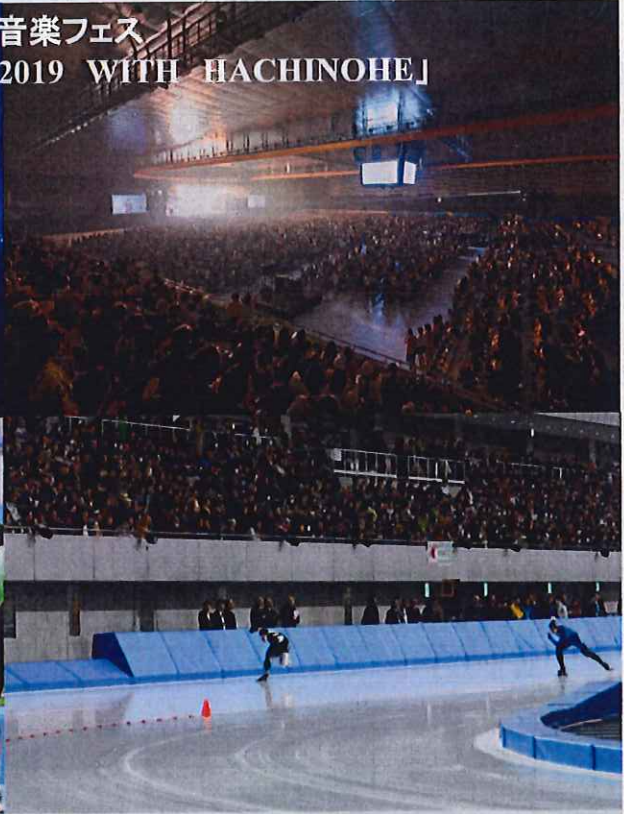
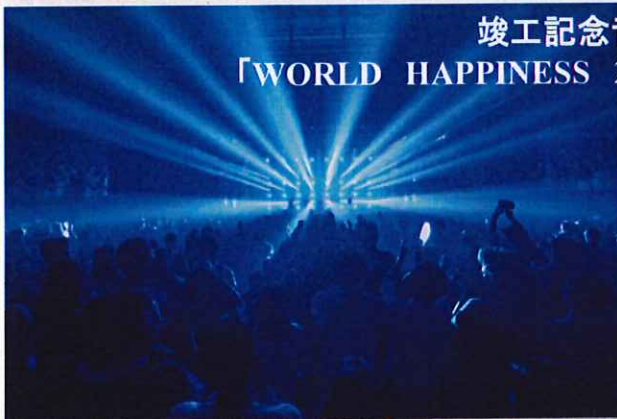
今後の予定

- 2/14 (金) - 16 (日)
2019/2020全日本スピードスケートジャパンカップ 第4戦
- 令和3年 2/19 - 2/21
2021ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会

八戸市長根屋内スケート場整備事業②



竣工記念音楽フェス 「WORLD HAPPINESS 2019 WITH HACHINOHE」



オープニングイベント

全日本スピードスケート距離別選手権大会

フラットアリーナの整備（官民連携事業）



■ 整備の枠組み

【計画の概要（初期構想）】

- ・アイスホッケー利用時は約2,500～3,500人、バスケットボール利用時約4,000～5,000人を収容予定
- ・映像・音響・照明設備も最新技術を活用したものを設置
- ・平成30年12月着工 / 令和2年春頃 開業予定



施設の目指す姿

- ✓ 交通利便性を活かすことで、広域から集客でき、様々なアリーナスポーツやイベントを「観て楽しむ」ことができるエンターテインメント型の多目的アリーナ
- ✓ プロスポーツの試合開催以外に、学校教育や地域スポーツで利用するなど、官民連携の新たなスポーツ施設運営モデルとなる施設
- ✓ 国内外へ「氷都 八戸」をアピールできる場としての施設

■ 施設のイメージ図

※今後、変更となる可能性があります。



▲外観

▼内観

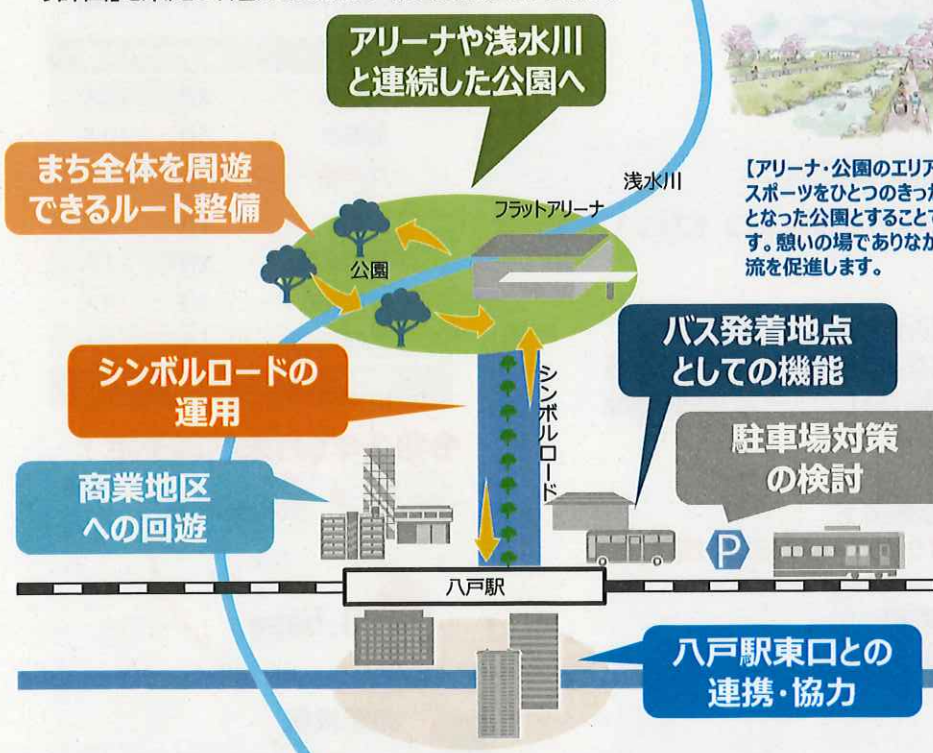


ロゴ・パース：クロススポーツマーケティング提供

八戸駅西地区のまちづくり



八戸駅西地区では、駅前広場やシンボルロードの整備が進み、またフラットアリーナの建設工事も進んでおり、シンボルロード沿線の土地の利用が始まる段階を迎えました。市では、今後のまちづくりの具体的な道しるべとなる「八戸駅西地区まちづくり計画」を策定し、魅力あるまちづくりを実施していきます。



【アリーナ・公園のエリアビジョン】

スポーツをひとつのきっかけとし、アリーナや八戸の気候風土と一体となった公園とすることで、誰もが健康的に過ごせる場を提供します。憩いの場でありながらも、様々なイベントを開催し、多世代の交流を促進します。



【シンボルロード周辺のエリアビジョン】

氷都八戸の伝統の一翼を担うアリーナと日常をつなぐ、様々なスポーツ愛好家の交流の場としつつ、今までの八戸市にはなかった、非日常なイベントを開催することで、観光客・住民など誰でも気分が高揚するような賑わいを創出します。

蕪島エントランスの整備



東日本大震災によって被災した蕪島地区の復興と、三陸復興国立公園の北の玄関口として相応しい魅力的な空間を創出するため、整備を進めています。



蕪島休憩所



蕪島プロムナード公園

・平成27年4月11日オープン
・観光案内スペースや休憩スペースがあり、館内からはウミネコの生態を間近に観察することができます

・平成30年7月1日オープン
・公園からは蕪島や海が一望でき、バーベキューを楽しむこともできる



蕪嶋神社 (令和2年3月26日一般公開予定)

蕪島海水浴場

プロムナード公園

蕪島休憩所

歩道・築山

物産販売施設 (令和2年4月オープン予定)

蕪島物産販売施設 (愛称: かぶーにゃ) 令和2年4月オープン予定

蕪島地区のさらなる魅力向上のため、物産販売施設を整備しています。

項目	内容
基本コンセプト	○蕪島の賑わい創出拠点 ○蕪島地区を訪れた観光客等の滞在時間延長 ○蕪島地区の活性化
建設場所	蕪島駐車場敷地内
施設規模	木造平屋建て、建築面積250㎡程度
導入する機能	物販、飲食提供、休憩所、その他



八戸都市圏交流プラザ「8 base」の設置



■ 施設の名称及び愛称

名称: 八戸都市圏交流プラザ
愛称: 8 base (エイトベース)

■ 交流プラザの設置目的

- (1) 地域製品の認知度を高め、販路を拡大
- (2) 継続的に地域を応援してくれる**関係人口 (ファン)**を増やす

■ 機能

物産販売機能や、八戸圏域の食の魅力を体感できる飲食機能に加え、在京同窓会などの各種団体の交流の場としての機能や、イベント機能、移住・UIターン促進機能

■ 立地ほか

JR有楽町駅からJR新橋駅間の高架下
『日比谷OKUROJI』(ヒビヤオクロジ) ※約50店舗が一斉にオープン!

所在地: 東京都千代田区内幸町
面積: 約141㎡ (約42坪)
営業時間: 11:00~22:00
定休日: 年末年始

H30年度青森暮らしサポートセンターを通じて移住した件数・人数 (市のみ抽出)

移住先	移住件数・人数	
青森市	7件	12人
弘前市	6件	10人
八戸市	19件	36人
黒石市	2件	5人
五所川原市	1件	1人
十和田市	3件	4人
つがる市	1件	1人
県全体	49件	83人

令和2年6月末開業予定!





事業概要

東京都に新設する「八戸都市圏交流プラザ『8base』」の利用増に寄与するとともに、**地域への関心や愛着を高め、ふるさとを応援する人を増やす**ため、**LINE**を活用して、首都圏にお住まいの方々を中心に、八戸都市圏（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）の魅力的な食や特産品、観光等の幅広い情報を提供する。

配信内容

- ・ファンクラブ通信（移住ポータルサイト「半都半邑の楽しさ」）の更新情報
- ・地域のイベントや特産品
- ・八戸都市圏交流プラザ『8base』の情報（予定）

登録の仕方

LINEアプリよりQRコードを読み込んで「友だち追加」



▲ QRコード



「ふるさと」と『LINE』でつながりませんか？



▲ LINEのタイムライン画面イメージ

ご清聴ありがとうございました。



2015年11月に火災で焼失した蕪嶋神社が4年の歳月を経て再建されました。3月26日に一般公開される予定です。

